

ひまわりだより

NO.255

2019年 8月



中上ひまわり薬局 松本市中上10-5 TEL 0263-35-4441
FAX 0263-37-5561
塩尻ひまわり薬局 塩尻市長畝230-3 TEL 0263-51-5311
FAX 0263-51-5322

定休日 日曜・祝日

今年は梅雨入りが遅く、集中豪雨や日照不足などによる災害が多かった長い長い梅雨となりました。やっと梅雨が開けて夏本番となりますね。急に暑くなったこともあって脱水症状、熱中症には気を付けましょう。

●今回は小児の誤飲についてお話しします。

2016年厚生労働省が実施した子供の誤飲調査での結果は、

- 1位はタバコ関係（ほぼ毎年1位）
- 2位は医薬品・医薬部外品
- 3位はプラスチック製品

でした。年齢では6ヶ月～12ヶ月が1番多いです。原因としては、口に入るもの全てが食べものではないとは認識できないからです。

・タバコ

タバコは半分～1本分のニコチンで子供は致死量となります。実は1番怖いのはタバコの吸い殻ではなく、タバコが捨てられていた缶や灰皿の茶色い水を飲んでしまったり、濡れたタ

バコを食べてしまうことです。

タバコの害はニコチン中毒です。乾いたタバコにもニコチンは当然含まれますがニコチンが溶け出すまでに時間がかかります。ニコチンの溶け出している水や濡れたタバコではニコチンがすでに溶けだしてしまっている状態のためすぐに吸収されてしまい特に危険です。

<対処法>

なにも飲ませずに吐かせてそのまま病院に連れて行きましょう。量が多い場合はすぐに救急車や救急病院に連絡を取ってください。

・医薬品

お菓子と間違えて食べてしまうことがあります。

<対処法>

薬の種類によっては対処方法が変わってくるので、時間・薬の内容、食べてしまった量などを確認して救急病院での処置を受けましょう。

・電池

乾電池は喉に詰まってしまい危険です。さらに危険なのが小さなボタン電池です。昔からある一般的なアルカリマンガン電池は、構造上強アルカリ物質が電池内に入っているため、漏れてしまうと胃が浸食されて胃に穴があいてしまいます。最近多くなったりチウム電池は電流が流れてしまうことがあるので危険です。同じ電池でも使い切ってしまった古い電池であれば

それほど問題にはなりません、新品や使いかけの電池は危険なので十分注意しましょう。

- ・漂白剤、洗剤

刺激があるため大量には飲むことはありませんが、粘膜を傷つけてしまいます。応急処置をして救急病院にかかりましょう。

<対処法>

ごく少量舐めてだけなら口をゆすぐ等の対応でかまいませんがたくさん飲んでしまった場合には、牛乳や水、生卵を飲ませて胃粘膜を保護する処置をしましょう。

吐かせたりすると逆流した液体が食道や口内を痛め、誤って肺のほうに入ってしまうこともあるのでやめましょう。牛乳、生卵等以外のジュースや炭酸、酢などは化学反応を起こす可能性があり返って危険になることがあるので飲ませてはいけません。また飲んでしまったものが塩素系、酸素系かによって対処法が変わるので受診の時は飲んだものが分かるようにしましょう。

- ・クリップや画鋲

尖ったもの、複雑な形のは喉に引っかかったり、食道や胃粘膜を傷つけてしまいます。

<対処法>

口の中を確認して取れそうな位置であればつまんで取り除けばよいですが、奥に入っていると経験がない人が処置することはほぼ不可能なので救急病院にすぐに連れて行き

ましよう。

最後に受診時には、いつ、何を、どのくらいの量を飲んでしまったかできるだけ正確に伝えましょう。医療機関ではとても重要な情報でその後の処置方法も異なってくるからです。

その他のものの対応は、

灯油・ガソリン：吐かせず受診。

殺虫剤（ホウ酸系）：牛乳や水を飲ませる。

殺虫剤（ピレスロイド系；Mシューダ®、アズジェット®、バポナ®等）：
少量なら口をゆすぐ。

防虫剤（パラジクロロベンゼン；ネパラース®等、ナフタリン；パラース®等）：水を飲ませて吐かせる（成分が脂溶性のため牛乳は禁忌）。

シャンプー・リンス：牛乳や水、生卵を飲ませる。

対応が分からなければ下記の中毒110番に電話を。

（財）日本中毒情報センター

大阪：072-727-2499 （365日24時間）

つくば：029-852-9999 （365日9～21時）

たばこ誤飲事故専用電話：072-726-9922

❖❖ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ❖❖

<http://www.himawari-ph.nagano.jp/>

こちらも是非、ご覧ください ☺